学校番号	3015

令和４年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語理解	3	第3学年	啓林館「Revised　ELEMENT English Communication Ⅲ」 旺文社「ターゲット 1900」 桐原書店「Reading Flash3」 エミル出版「2022 共通テスト英語模擬演習 40 min.（リーディング）」

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

3年生では、今まで学んできた文法や単語を復習しつつ、精読と速読を適宜使い分けられるように普段から意識しましょう。共通テストではかなりの量の英文を素早く読むことを要求され、リスニングにおいても 1 度しか聞けないところが半分ですので集中力も要求されます。私立入試では、長文とともに、文法問題が引き続き問われると思いますので、文法も手を抜かず復習しましょう。 当然ですが、授業内だけではなく、授業外でも様々な機会を利用して英語に触れるようにしてください。入試問題は英語力だけではなく、多種多様な知識を必要とされます。音楽、映画、ニュース、本などたくさんのものに興味を持って楽しみながら知識、英語力を身に着けてください。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第3学年】履修科目：英語理解（3 単位），英語表現（3 単位），アカデミックイングリッシュ（3 単位） ACT Ⅲ，（2 単位）GS（2 単位）英会話（2 単位） ／主な教材：Element Ⅲ、ターゲット 1900

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。 ◆◇身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	英語理解 英語表現 英会話 ACT Ⅲ GS	◆身近な話題に関して説明をし、自分の意見を、つなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。 ◆慣れ親しんだ語や表現を用いて、物事の手順を筋道立てて書くことができる。	英語理解 英語表現 ACT Ⅲ GS	◇自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。 ◇はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。	英語理解 アカデミックイングリッシュ 英会話 ACT Ⅲ GS	◇◆小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけではなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。 ◇やさしい英語で書かれた物語を読み切り、全体の筋を理解することができる。	英語理解 アカデミックイングリッシュ ACT Ⅲ GS

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	①うまく表現できないことがあっても、既知の語句や本文中の表現用いるなどして話している（話すこと） ②理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして、読み続けている。（読むこと） ③読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。（書くこと）	①聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の意見を話すことができる（話すこと） ②聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、その概要や自分の意見を簡潔に書くことができる（書くこと）	①語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を的確に聞き取ることができる。（聞くこと） ②説明などを読んで、特に重要な事実等をとらえることを通じ、全体の要旨を理解することができる（読むこと）	①英語の仕組み，使われていることばの意味や働きなどを理解するとともに，言語の背景にある文化を理解している。
評価方法	(a)授業内発言の取り組み（観察）	(a)授業内発言の取り組み（観察） (b)英作文添削（原稿提出）	(a)授業内発言の取り組み（観察） (b)ボキャブラリーテスト（小テスト） (c)定期考査	(a)定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson2 Language Extinction (6 時間)	＜言語＞ 言語の消滅は何が悪い？	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	言語の消滅について考え、話し合う	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		・日本で英語を話す人々が増えれば，日本語も消滅すると思うかについて話し合う。	日本における外国語使用状況について話し合う	① ②	(a)
		「英語理解の能力」			
		・何が言語を消滅させるのかを理解する。 ・言語が消滅するときに私たちが失うものは何かを理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・言語消滅について理解し、どれほどの言語が、どのように消滅しているのかについて理解する。	① ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・世界の言語を守るためにどのような取り組みが行われているかを理解する。		①	(a)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 The Truth about Grit (7時間)	＜心理＞ 「気骨」の秘密	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	・「グリッド」とは何なのかについて話し合う	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		「英語理解の能力」			
		・ニュートンが万有引力の概念を思いついた逸話の真実を理解する。 ・心理学者が気骨について研究し始めた経緯を理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・本文を読み、「グリッド」について歴史を含め理解する。	① ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・気骨に対するよりよい理解が何を可能にするかを理解する。		①	(a)
Lesson 5 A Class from Stanford University (5時間)	＜経済・エッセイ＞ 5ドルと2時間で何ができる?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	・自分がどのような型にとらわれているか考え、話し合う	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		・自分がこの授業を受ける生徒だったら何をするかについて話し合う。		①	(a)
		「英語理解の能力」			
		・筆者が授業で出した課題がどのようなものだったかを理解する。 ・それぞれのチームが課題にどのように取り組んだかを理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・本文を読み、5ドルと2時間という課題と、どのように考えていったかについて理解する	② ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・この課題から得られる教訓を理解する。 ディスコースマーカーについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。		①	(a)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 Environment or Orangutans? (7時間)	＜環境・自然＞ 自然保護がオランウータンを減少させる?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	・環境保護における矛盾について話し合う	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		・環境と経済のためにヤシの木を植えるべきだという意見に対する自分の考えを書く。		① ②	(a)(b)
		「英語理解の能力」			
		・オランウータンが絶滅の危機に瀕している理由を理解する。 ・ヤシ油の人気が再燃している理由を理解する。 ・ヤシ油の人気がオランウータンにおよぼす影響を理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・本文を読み、森林破壊とオランウータンの絶滅との関係について知り、環境保全のヤシ油の関係について考える	③ ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		パラグラフの構造について学ぶ。マクロパラグラフ		①	(a)
Lesson 7 Invisible Gorilla (6時間)	＜心理＞ 人間の知覚をめぐる幻想	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	・人間の知覚というものの不確かさや、幻想について考える、話し合う	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		・目立つものを見逃した経験について話し合う。		①	(a)
		「英語理解の能力」			
		・ゴリラ実験がどのように行われ，どのような結果が出たかについて理解する。 ・ゴリラ実験によってわかったことと，それが何を示しているかを理解する。 ・「非注意性盲目」がだれに起こるかと，「注意の錯覚」がなぜ起こるかを理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・本文を読み、ゴリラ実験と、人間の知覚における幻想について理解する。	④ ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		ディスコースマーカーについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。		①	(a)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 A Small Crime(6時間)	＜人生・生き方＞ 壁に落書きをした少年に父が語ったこととは?	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	・壁を落書きした少年についての自分の考えを語る	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		・落書きは芸術か犯罪かについて自分の意見をまとめ，市長に電子メールを書く。		① ②	(a)(b)
		「英語理解の能力」			
		・主人公がしかられることになった経緯を理解する。 ・主人公が部屋で考えていたことを理解する。 ・主人公の父親が主人公に言いたかったことを理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・本文を読み、壁に落書きした少年と父との物語を理解する。	⑤ ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		時間順序のディスコースマーカーについて理解し，文章の構成を考えながら，概要や要点をとらえることができる。		①	(a)
Lesson 1 Lies, Damned Lies, and Statistics (6時間)	＜統計・経済＞ 統計にひそむ嘘	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	・統計とはどのようなものかについて話し合う	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		・なぜ誤解を生むような統計データが使用されるのか，またそれをどのように見抜くかについて話し合う。		①	(a)
		「英語理解の能力」			
		・統計がどのように嘘をつくかについて理解する。 ・折れ線グラフを使ったデータの見え方の違いを理解する。 ・統計を利用する際に筆者と読者が気をつけるべきことについて理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・本文を読み、統計がどのように嘘をつくのか、統計を利用するさいどのようなことに注意すればいいのかを理解する。	⑥ ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		パラグラフの構造について学ぶ。ミクロパラグラフ		①	(a)

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 Praying Hands(6時間)	<人間愛・家族> デューラーの「祈りの手」秘話	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	・アート作品について話し合う	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		・アルブレヒトの気持ちを想像してアルバートに手紙を書く。		① ②	(a)(b)
		「英語理解の能力」			
		・アルブレヒトとアルバートがどのような約束をしたかを理解する。 ・アルブレヒトに学校に行くことを勧められたアルバートが泣いた理由を理解する。 ・「祈りの手」を見たときに，筆者が読者に思い出してほしいことを理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・本文を読み、デューラの家族の話について理解し、他者の助けが人生においてもたらすものについて理解する。	⑦ ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			
		未知語の推測方法について知り、未知の語が出てきたときの対応方法を学ぶ。		①	(a)
Lesson 10 All the Good Things (6時間)	<人間愛・学校> 人生を支えた学校時代の思い出	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・発話・再話の際に、既知の語句や本文中の表現を用いて話そうとする。	・高校生活を振り返り、思い出を語り合う。	① ②	(a)
		「英語表現の能力」			
		・教師のひとりに感謝の手紙を書く		① ②	(a)(b)
		「英語理解の能力」			
		・マークに関する筆者の思い出を理解する。 ・クラスの雰囲気が悪くなったときに筆者がしたことと，それがどのような効果をあげたかを理解する。 ・マークの葬式で筆者が知ったことを理解する。	オーラルイントロイントロダクションを理解する ・本文を読み、マークと著者の学校における思い出について理解する。	⑧ ②	(a)(b)(c)
		「言語や文化についての知識・理解」			